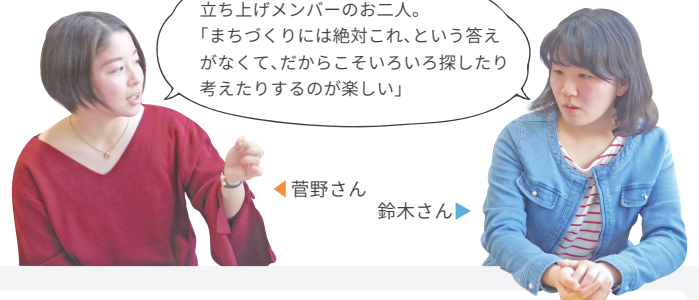


「多賀城発で多賀城着。」

「tag(たっぐ)」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、社会や地域のために何か活動したいという方を応援する月刊フリーペーパーです。

若い世代に多賀城を知ってほしい！ 高校生たちの一年の軌跡

2017年1月から約1年間、多賀城の魅力を若者目線で広めようと活動してきた「iRIS(アイリス)」。これまでの歩みを鈴木亜里紗さん(以下^あ)、菅野瑞貴さん(以下^み)に振り返ってもらいました。



立ち上げメンバーのお二人。
「まちづくりに絶対これ、という答えがなくて、だからこそいろいろ探したり考えたりするのが楽しい」

菅野さん

鈴木さん

「iRIS」を立ち上げたきっかけは？

- ^あ 高校生団体が主催したイベントに二人で参加した時に、高校生が自分の地元について堂々と話す姿に衝撃を受けました。
- ^み 何となく参加したけど、そこから私たちも多賀城で何かできないか、こういうイベントをしたいと考えるようになりました。

大変だったことはありますか？

- ^み 互いに予定が合わなくて、リーダー(鈴木さん)に負担をかけてしまったこと。
- ^あ 思いつきで動いてしまうこともあったので、他のメンバーが大変だったかも。
- ^み あと、イベントをうまく進めようとしすぎて、自分たちらしくできなかったこと。
- ^あ イベントの参加者集め。高校生にまちづくりに興味を持ってもらおうとしたけど、難しかった。

1年間で、成長したなと思えることを教えてください。

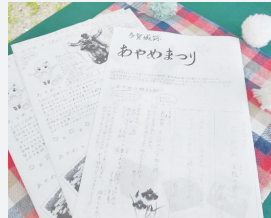
- ^あ 初めての場所や初対面の人の前でも、緊張しなくなったというか、緊張に慣れました。
- ^み 人と話したりするのが楽しくなったこと。自信がついて、積極的に話してみようと思えるようになりました。

「iRIS」は二人の高校卒業とともに活動を休止しましたが、高校生が見る多賀城という新たな視点を示してくれました。



◀ Tagajo Teen's Talk ! (2017/4/3)

「多賀城といえば？」を考えるワークショップ。食べ物、人物、歴史的なものなどたくさんの意見が出ました。「『楽しく話せてよかった』との感想がうれしかったです」
たがさぼPressもご覧ください！
「Tagajo Teen's Talk !」(2017年4月10日(月)掲載)



◀ 「多賀城跡あやめまつり」に参加(2017/6/25)

「あやめ×カワイイ」をテーマに、あやめまつりの紹介やあやめに関する情報をまとめフリーペーパーを製作、配布しました。



Hint from "Tagasapo Press"

ヒント from たがさぼPress

たがさぼのブログから、地域づくりに役立つ記事をご紹介します！

- 2018年3月15日(木)掲載 / ZINE(ジン)で発信！「まちの“楽しい”」
- 2018年3月20日(火)掲載 / 社会貢献をはじめたい方に「NPO運営のイロハ」
- 2018年4月5日(木)掲載 / 医療福祉 エンターテインメント 「Ubdobe」

“たがさぼPress”とは？

たがさぼスタッフによるブログ。興味がわいたらたがさぼPressへ！
<http://blog.canpan.info/tagasapo/>



「tag」のアンケートへ
ご協力をお願いします！



今後の誌面づくりの参考にしたいと思いますので、ぜひご協力をお願いします！

また、以下のような情報もお待ちしています！

- 自分たちの団体を取材してほしい
- ユニークな活動や、地域のためにがんばっている団体・人を知っている
- こんな話題を取り上げてほしい

Notice from Tagasapo

たがさぼからのお知らせ

たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

NPOいちから塾 参加者募集

私たちの身近な所でもさまざまな活動をしているNPO。この講座では、NPOの言葉の意味や成り立ち、しくみ、具体的な活動事例を分かりやすく解説します。NPOに興味があり学びたい、自分の暮らす地域のために何かしたい、そんな方におすすめの講座です。

- 日時 2018年6月10日(日)10:00~12:00
- 会場 多賀城市市民活動サポートセンター
- 参加費 無料
- 定員 10名(先着順/要事前申込み)
- 申込み 多賀城市市民活動サポートセンター窓口または電話にて
- 問合せ 022-368-7745(多賀城市市民活動サポートセンター)



市民それぞれの小さな積み重ねが、まちをおもしろく

～「たがじょうのミライ」に向けて②～

今年、たがさぼは開館10周年を迎えます。7月に開催する記念イベントに向けて、「たがじょうのミライのことをはなそう」と題して、市民のみなさんの想いや考えを出しあうプレイベントを2回行いました。今回はVol.2の様子を紹介します。

多賀城でもっと
わくわくしたいな！



1 多賀城をもっとおもしろくするには？

2018年2月25日(日)に開催したVol.2のテーマは「多賀城をもっとおもしろくするカギ」。今回は、まちづくり活動に取り組む高校生・大学生をゲストに迎えるとともに、多賀城を盛り上げる文化活動に長年携わっている吉田忠彦さんにコーディネーターをお願いしました。「もっと暮らしやすいまちになったらいいな」「もっとまちを盛り上げたい」という想いを持つ若者・大人とで、多賀城をおもしろくすることについて考えました。

2 まちを変えるには、まず自分から

一人目のゲスト・木村達海さんは、一般社団法人復興応援団の一員として仮設住宅や災害公営住宅の住民向けに情報誌を作成し、手渡しで届ける活動を行ってきました。その後活動の幅を広げ、現在は気仙沼市内のまちづくりの活動にも関わっています。

二人目のゲストは鈴木亜里紗さん。小学校の時に経験した東日本大震災と、高2の冬に参加したイベントをきっかけに、多賀城の歴史や特産品の魅力を若者に発信するプロジェクトをはじめました。これまで、高校生対象のイベントの開催や、フリーペーパーづくりなどを行いました。



[左]ゲストの鈴木さん(iRIS) [右]コーディネーターの吉田さん

お二人が活動を通して感じた「まちをおもしろくするカギ」は「自分自身が変わること」。活動を通して「自分ってこんなこともできるんだ」と自信につながり、それが周りの人にも伝わって取り組みに関心を持ってもらえるようになったという変化を感じたそうです。



ゲストの木村さん(東北学院大学工学部)。都合により、インターネット電話で参加しました。



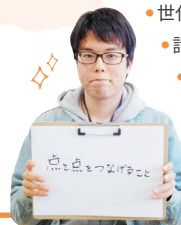
約20名が参加。地域活動に取り組んでいる方から、この日はじめて多賀城に来た方までさまざまな方が参加しました。

3 「わくわく」も「がっかり」もまちをおもしろくするカギ

後半は参加者のみなさんとのトーク。ゲスト・コーディネーターが考えた「①あなたがまちの中でわくわく・ときどきすることは？」「②あなたがまちの中でがっかりすることは？」「③あなたは普段何をしていますか？」という質問をもとに、まちのことを考えました。「道を歩いていると突然遺跡が現れるからわくわくする」「ゴミが捨てられているのががっかり」という想い。また質問③については、「畑で毎年新しい作物を栽培」「インターネットに頼らない居酒屋巡り」など、さまざまな趣味や過ごし方を出しあいました。ゲストとコーディネーターからは『わくわく』や好きなことを突きつめていくと、協力者が現れたり人の役に立ったりする。また、『がっかり』は自分の行動で変えられることもある。住んでいる人たちの小さな積み重ねによって、まちがおもしろくなっていく」というお話がありました。最後に全員で、みなさんのお話を通して感じた「多賀城をもっとおもしろくする『カギ』」を発表しました。

こんな「カギ」が出ました

- 普段の生活の中に多賀城をおもしろくするカギがある
- 世代を超えて問題やヒントを共有して行動する
- 話す・聴く・つながる
- 若者に挑戦させるまち
- できないと思わないで考える



少人数でのトークタイム。わくわくすることとして、「かわいい猫がいた」「砂押川や工場の夜景がきれい」「おいしいお菓子やケーキがある」などが出ました。

このイベントについて詳しくは、「たがさぼPress」もご覧ください！
「たがじょうのミライのことをはなそうVol.2開催しました。」(2018年3月9日(金)掲載)

- 今後の予定
- 6月23日(土) たがじょうのミライのことをはなそうVol.3
「みんなにやさしいまちにするカギ」
 - 7月22日(日) たがさぼ10周年記念イベント
トークイベントやミニ雑貨市を開催！



「tag」には、多賀城(tagajo)の頭3文字、みんながタッグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



@tagasapo

たがさぼのツイッターへのフォローをお願いします！



<http://www.tagasapo.org/>

2018年4月にリニューアル！
「たがさぼ」のホームページはこちら